

広報

今 帰 仁

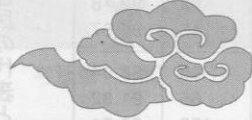
なきじん

毎月1日発行

1998

10月

NO.275



今帰仁御神

●今帰仁村の人口

男4,817人(+12) 女4,797人(+4) 計9,614人(+16)

世帯数3,287戸(+6) 平成10年8月31日現在



村内十七カ字で勇壮しなやかな
エイサーや盆踊り楽しむ

夏の行事として恒例になった地域に伝わる伝統芸能のエイサーや盆踊りが九月四日から六日にかけて村内十七カ字のアサギや広場で行われ、連日大勢の字民が繰り出しにぎわった。

天底区では特設舞台の地謡の三線に合わせて大大鼓、小太鼓をリズムよく打ち鳴らす勇壮な青年会のエイサーや子ども会の華麗な演舞に観衆から盛んな拍手が送られた。

また、当日は会場を盛り上げようとPTAによる出店が準備され、安いビールや食べ物がる舞われた。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を



玉城 吉信 (60)



新城 元 (51)



与那嶺 好和 (46)



喜屋武 治樹 (47)



島袋 輝志雄 (65)



嘉陽 宗敬 (50)



座間味 栄立 (50)



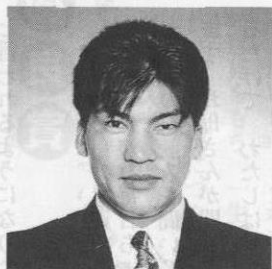
与那嶺 幸人 (51)



照屋 晃 (60)



東恩納 寛政 (48)



宮城 博政 (30)



與那嶺 清治 (58)



連天 政徹 (59)



新城 安昌 (75)



石嶺 光敏 (45)



米須 春治 (51)



玉城 克義 (49)



小波津 忍 (64)



山城 正 (60)



與那嶺 吉正 (60)

投票所	男・女	当日有権者	投票者	棄権者	投票率
第1投票所	男	1,287	1,139	148	88.50
	女	1,290	1,172	118	90.85
	計	2,577	2,311	266	89.68
第2投票所	男	843	763	80	90.51
	女	873	810	63	92.78
	計	1,716	1,573	143	91.67
第3投票所	男	736	648	88	88.04
	女	795	730	65	91.82
	計	1,531	1,378	153	90.01
第4投票所	男	471	409	62	86.84
	女	435	399	36	91.72
	計	906	808	98	89.18
第5投票所	男	163	147	16	90.18
	女	131	126	5	96.18
	計	294	273	21	92.86
合計	男	3,500	3,106	394	88.74
	女	3,524	3,237	287	91.86
	計	7,024	6,343	681	90.30

任期満了に伴う今帰仁村議会議員選挙は九月八日に告示され、十三日一斉に投票が行われた。開票会場の村コミュニティセンターには、早々と各陣営の支持者たち多数が詰め掛け開票の行方を静かに見守った。そして二十の議席に対し、二十一人が立候補する少数激戦の結果、現職十七人、新人三人が当選した。投票率は九〇・三〇%で前回(平成六年、九一・九六%)より下回った。

当選した議員は、今後四年間、村民の負託を受けて今帰仁村発展のため、住民の代表として活躍が期待される。

村議会議員二十一人決まる
投票率九〇・三〇%
前回は下まわる

今帰仁村議会議員選挙得票数

(定数20人/立候補22人)

	氏名	所属	字名	得票数
当選	喜屋武治樹 (47)	共産・現	仲尾次	384.0
当選	与那嶺好和 (46)	無・現	仲宗根	360.738
当選	新城 元 (51)	無・現	今 泊	356.748
当選	玉城 吉信 (60)	無・新	兼 次	349.610
当選	与那嶺幸人 (51)	無・現	崎 山	347.675
当選	座間味栄立 (50)	無・現	上運天	330.0
当選	嘉陽 宗敬 (50)	無・現	湧 川	317.0
当選	島袋輝志雄 (65)	無・現	諸 志	307.0
当選	與那嶺清治 (58)	無・現	与那嶺	295.423
当選	宮城 博政 (30)	無・現	古宇利	288.0
当選	東恩納寛政 (48)	無・現	湧 川	273.0
当選	照屋 晃 (60)	無・現	渡喜仁	269.0
当選	米須 春治 (51)	無・新	謝 名	266.0
当選	石嶺 光敏 (45)	無・現	平 敷	263.0
当選	新城 安昌 (75)	無・現	玉 城	255.251
当選	連天 政徹 (59)	無・現	運 天	251.0
当選	與那嶺吉正 (60)	無・現	渡喜仁	241.162
当選	山城 正 (60)	無・現	兼 次	234.0
当選	小波津 忍 (64)	無・現	古宇利	232.0
当選	玉城 克義 (49)	無・新	仲宗根	214.380
次点	大城 幸治 (49)	無・現	今 泊	212.0
次点	仲原 正春 (53)	無・現	今 泊	212.0

一票の重みズッシリ



▲当選証書交付式 (9月18日)



▲開票風景

がんばっている夕読み

湧川小3年 澤岷 奈菜



学対シリーズ(46)

わたしが今、がんばっていることは、本がすらすら読めるようになることです。毎日、国語の本を大きな声で読んでいます。二年生のときは、あまりじょうずに読めなくて、よくひっかかっていたんです。だから三年生になったとき「今年は毎日日本読みをして、すらすら読めるようになるぞ」と心に決めたのです。

わたしは、いつも台所の前で夕読みをやっています。お母さんはその時、おさらあらいをしながらも、わたしの本読みを聞いてくれます。そして、聞きおわると「ちよっとじょうずになったね。もつと本読みをしたら、もつともつとじょうずになるよ。がんばって」とほめてはげましてくれます。わたしは、お母さんにほめられるとうれしくて、「またがんばるぞ」とやる気がでています。

また、時には「もつと気持ちをこめて読んでごらん。そうすると、聞いている方にも様子や気持ちがよく伝わるよ」とアドバイスをしてくれます。

ます。次に読むときは、お母さんに言われたことに気をつけて読んでいます。そうするとまた、ちよつぱりじょうずになったような気がします。わたしが「きのうよりもつとじょうずになったでしょう」と聞くと、お母さんは「そうだね。きのうよりちよつとじょうずになったね」と言ってくれます。お母さんは「ちよつとじょうずになった」と言いますが、わたしはがんばって練習をして、お母さんに「どつてもじょうずになった」と言われるようになりたいです。

お母さんは、いつもいそがしいのですが、毎日ちゃんとわたしの夕読みを聞いてくれます。お母さんが聞いてくれるだけで、わたしはとてもうれしいです。たまに、わたしが夕読みをするのをわすれていると「奈菜、夕読みはどうしたの。早くお母さんに聞かせてちょうだい」と言われます。



▲今帰仁小2年 しまぶくろ たえこ

ねえ きりて

元気な ぼくの

朝ふみ 夕ふみ

今帰仁小2年 松本 大樹

しまいます。お母さんは、わたしの夕読みを楽しみにしているようです。わたしも二年生のときは、あまり夕読みをしたくなかったのですが、今は夕読みをするのが楽しいです。毎日練習をしたらそれだけじょうずになるからです。

さいきんは、お母さんにほめられる回数も多くなりました。つづけることが大切なんだなあと思いました。

これからは、会話の文を気持ちよく読んで読めるようになりたいです。そのために、毎日お母さんとがんばります。

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

でもこのごろは、その言葉をよく考えるようになりまし。なぜかという、もし祖母が私達と同じ年なら、私のように、好きな事を前よりもつとと思うぞんぶんできたと思えます。

祖母が私と同じ五才の時、戦争前です。いろいろいそがしく、今みたいにゆつくりとしたいらなかつたのです。

祖母は今の時代のようにゆつくりしている私達が少し、うらやましかつたのかもしれない。でももし、祖母が私達と同じ年だったら、五才の時に私にあの言葉を言っていたらなかつたと思えます。

祖母が私と同じ五才の時、戦争前です。いろいろいそがしく、今みたいにゆつくりとしたいらなかつたのです。

賞 最優秀賞に 岸本江利香さん

少年の主張国頭地区大会

第十三回少年の主張国頭地区大会が九月八日、国頭教育事務所で行われ、村代表として出場した岸本江利香さん(今帰仁中二年)がみごと最優秀賞に輝いた。

江利香さんは、九月二十七日に沖縄女性総合センターでいるので開催される県大会に派遣されることになった。同大会での活躍を期待したい。

優良賞

私の選んだ道

兼次中一年 山内 香奈子



青少年の主張大会

あつて、他の人がそれに対し、何を言おうと別に関係のないことだと思えます。私みたいな選んだ道が良かったのなら、それはそれで良かったと思う。道を選ぶことはきつと死ぬまでに何回もその人によつてくると思えます。それでも自分の意見をもち、一生懸命にやればそれは次につながっていくと思えます。

よく、ピアノの伴奏をしています。今、私はとても毎日が楽しいし、充実しています。好きな事をたくさんでき、私は選んだ道をまわがっているなかつたと思えます。人はそれぞれ一生に一度は何かを選ぶ時があると思えます。もしもそれで悪い道を選んでしまつてもそれは、その人の選んだ道で

私は今、バスケット部に入っています。もつといろいろなスポーツも好きです。それに私は、ピアノとか音楽も好きです。そのせいで二つを同時に好きになつた私は、毎日が大変です。中学に入る前は、家の人から「中学に行つたら、吹奏楽部に入りなさいね」と言われました。家の人というと、祖父や祖母からです。私はこのごろとてもスポーツに興味があつて、それに、父や母なども賛成してくれてました。

祖父や祖母は私が音楽の道へ進んでほしいらしく、私をピアノ教室に毎週金曜日に行かせています。中学生になり私は、二日ぐらいつり入部をしました。一日目はバスケット部を見に行きました。そして二日目も……。

結局は吹奏楽部へは行きませんでした。嫌いだつたのではなくバスケット部を見に行った日かなんだか、心のどこかでこんなスポーツをしたいと思

小さいころ、祖母がこんなことを言っていたのを思い出しました。「おばあちゃんも今の時代にあなたたちぐらいの年を生きていたら」この言葉を聞いて私は、なぜかショックでした。そのころの私はまだ五才で、もし、おばあちゃんが自分ぐらいたつたら、と思えて少しおどろきすぎていたんでしよう。



江利香さんに優勝旗と賞状が贈られた

村の明日を担う婦人たち 活発に意見交換

村婦人会リーダー研修会



▲巧みな話術で研修会を盛り上げる伊狩先生

「心の通い合う潤いのあるふるさとづくり」の合言葉で九月十日、平成十年度村婦人会リーダー研修会が梯梧荘で開かれ、各字から婦人会長や会員約五十人が参加した。開会式で我那覇トシ子婦人会長が「ハイサイ婦人会の皆様チューウガナビラ、メーニチイチユ

ナサル中、朝からヘーベートウ、ウメンソーチクミソーチ、イッペーニヘーデービル」とこの日の講演にふさわしい方言であいさつ。続いて大城藤夫村教育長が「この研修会でいろいろな意見を出し合って、女性の力を行政にも反映させていってほしい」と激励の言葉を述べた。その後、「今、輝いて」の演題で伊狩典子先生(沖縄方言キヤスター)の講演があり、その中で先生は「人はみんな

生まれながらにして選ばれているのだから、もつと命の尊さを大事にしなければならぬ。ウチナンチュヌチムグルルを受け継いだ以上はそれを磨かないといけない」と話し、ユーモアたっぷりの語り口で会場を笑いの渦に巻き込んだ。また、午後からはいまじん大鼓のアメリカでの活動報告や分科会、レク実技なども行われ、和気あいあいの中で婦人会の親睦を深めた。

▶お年寄りの四百六十人が参加して長寿を祝った敬老会



多年にわたり社会に貢献してきた老人の功績に感謝し、少しでもその労をねぎらおうと平成十年敬老会が九月一日、村コミュニティセンターに七十五歳以上のお年寄り四百六十人が参加して開催された。敬老会では上間博安村長や

与那嶺幸人村議会議長からお祝いのあいさつがあり、山城尚美さん(今婦仁小六年)が感謝の言葉を述べた。式典終了後、舞台では仲西豊民謡グループによる民謡シヨ、琉舞など多彩な演目が披露され、集まったお年寄りを喜ばせた。

お年寄りの 長寿あやかる 村敬老会



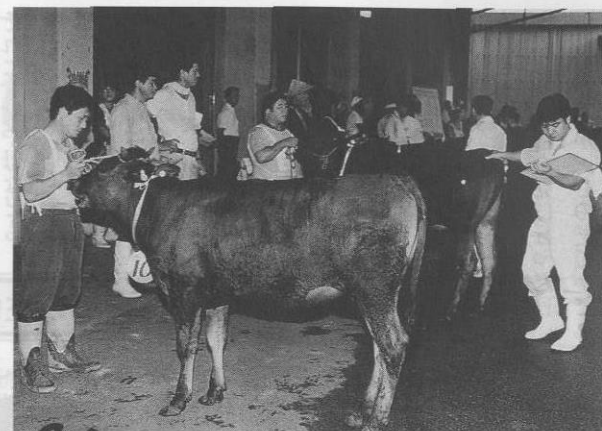
「敬老の日」の十五日には上間博安村長から百歳以上の高齢者十二人に祝詞と記念品が贈られた。また、一九九八年度の沖縄県長寿番付において嘉陽マツさん(一一二歳、特別養護老人ホーム乙羽園)が男女を通して二年連続沖縄県長寿番付一位に輝き、さらに全国でも三位にランクされ長寿記録を更新している。なお、村の七月三十一日現在のまとめでみると、今年村内では新百歳が四人、百一歳



嘉陽マツさん (112歳・呉我山出身)

嘉陽マツさん
沖縄県長寿一位
全国長寿 三位

以上が九人、カジマヤ、トーカチを迎えた方がそれぞれ九人と四十一人いる。



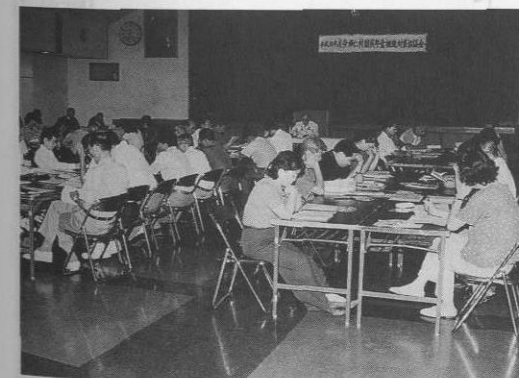
▲手の感触で牛の善し悪しを調べる審査員

畜産農家自慢の肉用牛 60頭出品 第7回村畜産共進会

農家が手塩にかけて育て上げた自慢の肉用牛の品種を競う第二十七回村畜産共進会が九月一日、家畜セリ市場に畜産農家や関係者多数が参加して開催された。この日の開会式で上間博安村長は「今後さらに家畜の改良を進め経営安定と畜産振興に努めていただきたい」とあいさつした。共進会は子牛去勢、若雌一類からなる六部門に六十頭の肉用牛が出品され、厳正な審

査が行われた。その結果、県農林水産部長賞(成雌第一類)に王城久義さん、畜産振興基金公社理事長賞(成雌第二類)に伊野波盛達さん、国頭郡農業共済組合長賞(成雌第二類)は大城喜英さんにそれぞれ特別賞が贈られた。また、優等と一等一席の肉用牛(子牛を除く)は十月一日に開かれる北部地区畜産共進会に村代表として出品される。各部門の入賞牛は次のとおり。

- | | | |
|--------|------|-----------|
| 子牛(去勢) | 優 等 | 我那覇隆久(謝名) |
| | 一等一席 | 当間正安(与那嶺) |
| | 二等二席 | 伊野波盛達(今泊) |
| | 三等三席 | 仲宗根久善(謝名) |
| 子牛(雌) | 優 等 | 当路由行(仲宗根) |
| | 一等一席 | 伊野波盛達(今泊) |
| | 二等二席 | 上間久仁(越地) |
| | 三等三席 | 伊野波盛美(今泊) |
| 若雌第一類 | 優 等 | 内間真昭(与那嶺) |
| | 一等一席 | 長浜勝淳(上運大) |
| | 二等二席 | 金城吉信(仲宗根) |
| | 三等三席 | 高田 勝(運大) |
| 若雌第二類 | 優 等 | 大城光生(上運大) |
| | 一等一席 | 松田達男(仲宗根) |
| | 二等二席 | 伊野波盛美(今泊) |
| | 三等三席 | 高田 勝(運大) |
| 成雌第一類 | 優 等 | 玉城久義(平敷) |
| | 一等一席 | 当間正安(与那嶺) |
| | 二等二席 | 金城吉信(仲宗根) |
| | 三等三席 | 仲宗根久善(謝名) |
| 成雌第二類 | 優 等 | 伊野波盛達(今泊) |
| | 一等一席 | 大城喜英(平敷) |
| | 二等二席 | 伊野波盛美(今泊) |
| | 三等三席 | 大城豊喜(平敷) |



▲年金の普及をめざして協議する推進員

今後、無年金者を一人でも少なくするために推進委員をはじめ、関係者のさらなる活動が期待される。なお、村民の平成九年度の国民年金受給状況は、受給者数二千三百五十四人、受給額十三億六千八百万円となっている。

無年金者をなくするため 国民年金推進対策協議会を開催

老後の生活や不測の事故に備え、みんなで費用を出し合い、それを積み立てて生活の安定を図ることを目的に八月二十八日、午後二時から平成十年度村国民年金推進対策協議会が村コミュニティセンターで開かれた。当日は推進委員や各字の書記、徴収員ら八十五人が参加し、より多くの人がより多く

の年金を受けるには何をどうするべきかについて研修が行われた。協議会では、次の三つの重点目標を掲げ国民年金事業を推進することを確認した。

- ① 国民年金推進活動の活発化を図る。
- ② 第一号被保険者の完全適用の徹底を図る。
- ③ 保険料の検認向上を促進する。



北山高校創立50周年 その草創期を顧みる(10)

運天政一 -「北山」の主・故上間政春先生のこゝ-

「草創期を顧みる」シリーズは十回目を迎える。これまで校章、校歌を背景に陸上について、大学進学について、その輝かしい成果を語ってきた。この素晴らしい成果の根源にあるものは何か。思うに、それはまず生徒達自身の努力(資質を含めた)を始めとして、背景たる当時の村の環境に至るまで要因はいろいろ取り上げられるであろうが、やはり何と言っても当時の指導者(先生方)の存在をおいては語れない。そこで以後二、三回については草創期の先生方の思い出にふけりた

い。昭和二十三年九月、開校当初の職員は、赤嶺康成校長、田港朝明教頭、上間政春、新城紀秀、仲本真一、小浜一芳、玉城啓佐、仲本一郎、本多晶子の各先生方に吉田正徳事務官の十名であった。各先生方それぞれに思い出は今なお深いものがあるが、今月号ではまず北山高校にとって象徴的な存在であった故上間政春先生を偲ぶことにしたい。



故上間政春先生

昭和十年台北第二師範学校を卒業された政春先生は、終戦まで台湾の小学校(国民学校)で教鞭をとられたが戦後沖繩に帰られてからの教職生活は、そのほとんどを高等学校における英語教師で過ごされた。その著書「親と師と友」に「私は北山に入りますること数回に及び累計勤務年数二十四年、私の教師経験四十年余の大半はこの学校で過ごしたので・・・」とあり、また「七名の子供達が揃って地元高校をでたのは良かったと思っっている。」とも書かれていてその淡々とした表現のなかに地元北山高校によせる深く熱い思いが窺える。

草創期の先生方の多くは次々に県の中央に出てそれぞれの日頃のお父さんへの「ウッポン」晴らしなのか、ものすごいキックを炸裂し、パワーあふれるフアイトをむきだしにする婦人たち。これは九月十七日、村運動公園サブグラウンドで行われた第三回婦人キックベースボール大会でのこの

わたしの足跡(上間政春先生二冊目の著書「遺稿集」)があるが、先生の中央進出への辞退に関しては両書のいずれにも述べられていない。それを敢えて私が上述のような推測をしたのは、特に二冊目の遺稿集を読ませていただいた深まった感慨からくるものである。そこには先生が村教育長退任のあと、老人クラブ、民政委員、児童委員、村歴史文化センター設立とその後の運営字今泊誌編集長等々との関わりが克明な資料として掲載され、あらゆる立場から村の生成発展に寄与されたお姿がある。就中これらがいつも家族とそれを取り巻く縁者等と和みあう中で築かれていたことが温かく胸に迫る。特に「父祖父を偲ぶ章」は珠玉篇で期せずして今失われつつある教育とは何かを示唆している。私は創立五十周年にあたり、上間政春先生こそ「北山」の主として銘記し、何らかの形で長く記憶に残すべきものと思うのである。

昨年の悔しさをバネに今泊優勝



第九回村少年野球大会が八月二十五、二十六の両日、各字の代表七チームが参加して村運動公園サブグラウンドで開催された。大会は、昨年優勝の崎山が一回戦で早くも姿を消す波乱の幕開けとなったが、投手守にバランスのとれた今泊と両運天が勝ち残った。

決勝は今泊が初回から小刻みに点を加え有利に試合を展開、「北山キング」チームで鍛え上げられたガッツプレーを随所に見せた。そして迎えた四回には畳み掛ける攻撃で一挙四点を奪い試合を決定づけるとともに、昨年の雪辱を果たした。また、今回から三賞(殊



▲優勝メダルにニコリ！今泊Vナイン

勲、敢闘、打撃)に代わり選手一人ひとりに優勝メダルが贈られた。

国頭郡球格技大会 村勢三種目に優勝を飾る



▲優勝した剣士たちの勇姿

国頭郡体育協会(西島一將会長)主催による第三十五回国頭郡球格技大会が八月三十日、村運動公園を主会場に北部三町村で開催され、本村は十六種目中九種目にエントリー。サッカー、剣道をはじめボウリングの個人戦(内間一夫さん)が優勝。さらに女子バレー、ソフトテニス、ボウリング団体が二位と健闘した。

特に、サッカーはベテラン選手と高校を卒業したばかりの若手の歯車がうまくかみ合い、沖繩リーグ出場チームの金武町を四対一で圧倒。東村に二対一と辛くも勝ち、決勝では宜野座村を相手に白熱した試合を展開、後半みごとに逆転劇を演じ二対一で勝利の栄冠を手にした。



▲大ハッスルで運動不足解消

第三回婦人キックベースボール大会

ファイトあふれるプレーに大歓声

試合は仲宗根みやらびが制す



▲勝利のVサイン。仲宗根みやらびのみなさん

その日は、強い北風の中昨年の十一を上回る十四チーム総勢二百四十人が参加し、会場の盛んな声援を受けながら各チームとも大ハッスル。女の熱い戦いが始まった。

決勝は、若さの仲宗根みやらびとパワー全開の玉城ムスタングが対戦。両チームとも前半好ゲームを繰り広げたが三回仲宗根みやらびの一挙五点を奪う猛攻にさすがの玉城ムスタングもついていけず、ついにゲームセット。勝ち負けに関係なくこの和やかな雰囲気の中でさらに村婦人会の絆を強めた。

あまから 伝 言 板 くまから

第35回国頭郡陸上競技大会

10月25日(日) 名護市営陸上競技場

共に興さな、文化村今帰仁 第16回村文化祭

平成10年10月31日(土)・11月1日(日)
村中央公民館・村コミュニティセンター

◎作品募集
絵画、写真、書道、陶芸、染色、民芸、盆栽、生花、手作り料理など

※問い合わせ：村教育委員会
☎56-2645
2647

第14回やんばるの産業まつり

平成10年10月16日(金)～18日(日)

◆名護市民会館◆
特産品・民芸品
緑化木・花き
果樹・観葉
アトラクション…

10月は土地月間です。

土地についての基本理念の普及・啓発を図るとともに地価公示、地価調査、土地取引の届出、開発許可制度、国土調査等の土地対策についての県民の理解を深め、土地対策のより実行ある推進に資するため、平成2年度より「土地月間」が創設されました。
土地についての、基本的な考え方は次のとおりです。

- (1) 土地については、公共の福祉が優先します。
- (2) 土地は、適正に、計画的に利用されることが必要です。
- (3) 土地は、投機的な目的で取り引きされてはならないものです。
- (4) 土地の価値の増加に伴う利益は、適正な負担で社会に還元されなければなりません。

※開発許可制度について、ご存じですか。

開発行為を行う場合は、県知事あるいは各大臣の許可が必要な場合がありますので、関係法律を所管する県及び市町村の関係各課に、開発を行う前に相談して下さい。
県の土地対策発行のパンフレット「土地利用規制のあらまし」を参照して下さい。

危険物取扱者試験

試験日時：平成10年12月13日(日) 午前10時開始
試験種類：甲種・乙種第1類～第6類・丙種
試験会場：南部農林高等学校・沖縄国際大学・北部農林高等学校
宮古工業高等学校・八重山農林高等学校
受験願書受付期間：平成10年11月2日(月)～11月9日(月)
受験案内書配布先：各消防本部・宮古・八重山支庁振興総務課・消防試験研究センター
受験受付方法：受験願書を試験センターへ郵送又は直接窓口へ持参(土・日休み)
受験受付場所：(財)消防試験研究センター沖縄県支部
及びお問い合わせ 那覇市旭町14番地 自治会館5階 ☎098-867-5332

秋の行政相談週間実施される

—10月11日(日)～10月17日(土)—

年金や保険などあなたの身近な苦情や要望を受け付けます。

行政相談所開設

村では、次のとおり相談所を開設し、総務庁長官から委嘱された行政相談委員が相談に応じます。

- ◎とき：10月21日(水) 10時から16時まで
- ◎ところ：村コミュニティセンター
行政相談委員は新垣 侃さんです
連絡先 ☎56-3148 (自宅)

総務庁沖縄行政監察事務所の行政苦情110番

☎ (098) 867-1100

※17時より留守番電話

ご寄付

村社会福祉協議会へ

- 比嘉正輝さん(那覇市久茂地) 一より社会福祉事業に役立ててくださいと車イス一台
- 島袋照さん(与那嶺四六) より夫、政春様の香典返しとして二十万円
- 吉田義邦さん(那覇市古島二五五) より父、光正様の香典返しとして二十万円
- 王城ノブさん(今泊一五九) より夫、寛様の香典返しとして十万円
- 石川智代さん(渡嘉仁三) より夫、清仁様の香典返しとして十万円
- 諸喜田スエ子さん(仲宗根三三九) より夫、峯夫様の香典返しとして十万円
- 仲宗根正春さん(今泊四九〇九) より母、ハナ様の香典返しとして十万円
村育英会へ
- 吉田義邦さん(那覇市古島二五五) より父、光正様の香典返しとして十万円
※ご芳志ありがとうございます。

介護保険制度が 2000年4月スタート



村の取り組み

介護保険事業計画の策定

平成12年4月の介護保険制度スタートに向けて村ではさまざまな準備を進めています。平成10年度は、63歳以上の方を対象に「高齢者実態調査」と「介護認定モデル事業」を行い、それを基に平成11年度に「介護保険事業計画」を策定します。

高齢者実態調査にご協力を

63歳以上の方を対象に、生活(健康)状況やご希望する保健福祉サービスを知る目的で10月から実施調査を行います。この調査結果から、各サービスごとの必要見込み量を計算し、それを確保するための方策を検討した上で保険料算定の基礎とします。

対象者と調査方法

●一般高齢者調査
63歳以上を全員対象として民生・児童委員を通じて調査票の配布と回収を行います。

●要援護調査
一般高齢者調査の結果介護が必要と推定される方と、現在村の保健福祉サービスを利用なさっている方を中心に、調査員がお宅を訪問します。

調査内容

高齢者ご本人の身体状況、住宅世帯状況、健康、受診状況、保健福祉サービスの利用状況及び周知状況、将来のサービスの利用意向など。

調査時期(予定)

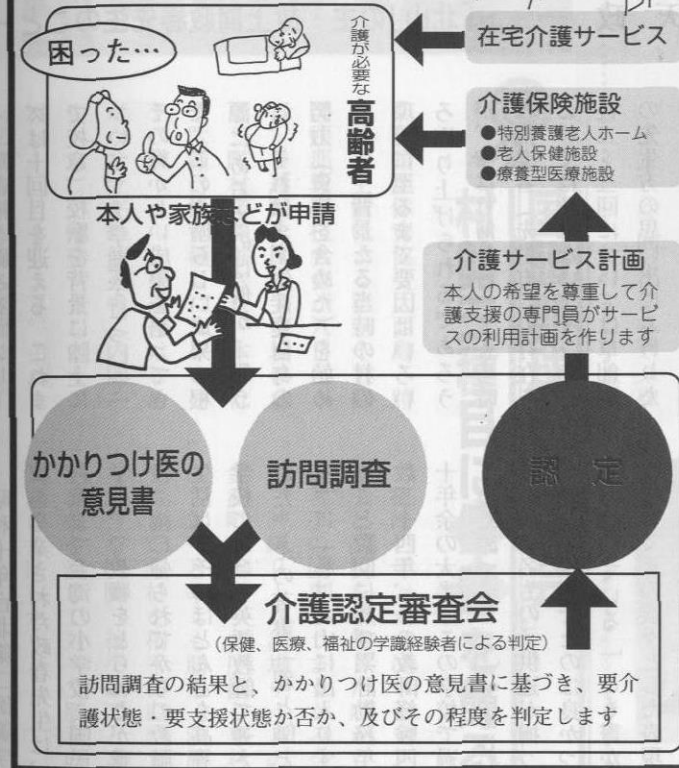
平成10年10月

要介護認定モデル事業

介護制度施行時の事務が円滑に行われるように今年10月にモデル事業を行います。この事業は、現在、在宅でサービスを受けている9名、施設でサービスを受けている20名のモデルケースを抽出し、訪問調査や要介護の認定作業、介護サービス計画を作成するなどを試行するものです。

お問い合わせ 今帰仁村役場福祉課
TEL 56-2101 内線48

●要介護認定とサービスの利用方法



サービスを受ける手順

要介護認定とサービスの利用方法は、上の「要介護認定とサービスの利用方法」の流れで行います。

まず、被保険者が介護を必要とする状態になったとき、①村に認定申請をする→②職員による訪問調査→③介護認定審査会での審査。審査は訪問調査の結果とかかりつけ医の意見書を基にして「要介護」「要支援」「非該当」の判定をする→④介護支援専門員(ケアマネージャー)などが介護サービス計画(ケアプラン)を作成しサービス内容などの検討を行う→⑤サービスの利用開始—という手順になります。

10月/神無月

1	木	○心身障害児通園事業 (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00) ○北部地区畜産共進会 (セリ市場) ○デイサービス (土日、祝祭日除く毎日) (9:00~17:00 コミセン)
2	金	○婦人検診 (今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次) コミセン
3	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○村陸上前日競技
4	日	○村陸上競技大会
5	月	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6	火	
7	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
8	木	○1才半・3才児健診
9	金	○婦人検診 (崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根) コミセン
10	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○体育の日 ○体力テスト (村民体育館) ○村営保育所合同運動会
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
15	木	○ディケア
16	金	○やんばる産業まつり (18日まで) ○牛セリ (セリ市場)
17	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
18	日	○老人婦人運動会
19	月	
20	火	○区長会 (14:00~ 2階会議室)

21	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
22	木	
23	金	○平和祈願祭 ○村童話・お話し・意見発表大会
24	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
25	日	○郡陸上競技大会 (名護市菅陸上競技場)
26	月	○DPT予防接種
27	火	
28	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン)
29	木	
30	金	
31	土	○文化祭

11月/霜月

1	日	○文化祭
2	月	
3	火	○文化の日
4	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○リハビリ教室 (13:30~16:30 コミセン) ○ポリオ予防接種
5	木	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6	金	○ツール・ド・おきなわ (8日まで)
7	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○風しん予防接種 (中2) ○北山高校50周年記念式典
8	日	○今帰仁郷友会運動会 ○第16回沖縄県高等学校駅伝競走大会村運動公園スタート (女子10:00 男子12:20)

編集後記

■ 九月の中旬頃から朝夕はめっきり秋めいて、クーラーのいらぬ季節となりました。秋と言えば「食欲の秋、スポーツの秋」とも申しますが、これからは各学校の運動会をはじめ、陸上競技大会や駅伝大会などのスポーツの祭典がめじろ押しです。

■ 最近、道路などでジョギングをしている人の姿をよく見かけるのもそのせいでしょうか。

■ 特に運動会シーズンになると感じることは、必ずPTA作業があることです。私も小学生、中学生、高校生を持つ親として幾度となくその作業に参加してきましたが、私たちが子ども頃はすべて自分たちでやったのに、今の子どもたちはカマの使い方さえ知らない。今一度身近なものから教育の一環として教えたらどうだろうか。